

2007年01月10日

 **先生方も始動です！**
～国分寺市教員研修～

週末からの三連休も終わり、宇宙教育センターも今週から本格的に業務が始まったところです。

ここ数日は出張や外勤がないためか、事務所には久しぶりにたくさんのメンバーが集い、随分と賑やかになっています。

さて、今日は一足早く始動された先生方の話題をお届けします。

先週金曜 1月 5日、国分寺市で「授業改善」をテーマとした公立小中学校教員研修の全体会があり、市内の小学校の先生方による研究発表のほか、的川先生による『子どもの心に火をつける -宇宙と教育-』と題した講演が行われました。

市内全ての公立小中学校の先生方が対象とあって、参加者は約 3 5 0 名。会場のいずみホールも満員で、大変な熱気に包まれていました。



<会場の様子>

的川先生の講演、一言二言ではとても書き切れないほど濃い中身だったのですが、いくつかをご紹介します、

- ◆宇宙には他にはない非日常性や既存の視点を大きく転換させる力など様々な魅力にあふれている

- ◆子どもは、その心にいったん火がつけば、大人が手助けせずとも自らその探究心を駆使して知識や経験の輪を広げていくもの

それぞれの子どもの中に内在しているはずの「好奇心」や「冒険心」・「匠の心」といったロケットでいえば「燃料」に火をつけ、目覚めさせる「酸化剤」（きっかけ作り）のひとつとして宇宙も非常に大きな力を発揮できるはず

- ◆そしてこれらの心は決して個々にあるべきものではなく、その礎に「いのちの大切さ」があってこそ、これからの国づくり・未来を担う大きな力となっていくのではないかと

◆私たちは非常に豊かな自然を持つ惑星・地球に生き、魅力ある無数の生き物たちと一緒にこの星の今の時代を築きつつある

古来、日本人には あらゆるものに「いのち」を感じる感性があり、その素晴らしい感性を生かした国づくりをしていきたい

今は宇宙から地球を見る時代、もはや日本の子、という意識だけではなく、「地球の子」としての視点を持ってもらいたい

◆宇宙を様々な場で活用してもらうためにも、一人でも多くの先生方と一緒に力を合わせて子どもたちの育成に取り組んでいきたい

といったことが、

的川先生のこれまでの半生、昨年リスボン・ロカ岬での思い、宇宙教育にかける決意など、ご自身の経験やお気持ちを随所に織り交ぜ、数々の画像とともに進みます。

中でも国際宇宙ステーションから撮影された地球に映る月の影（つまり、日食をいつもとは違う視点から見たものです）の写真やコズミックカレンダー（※1）の話題など様々な場面で、聴衆の先生方の「おおーっ」という感嘆の声が聞こえてきました。

年の初めって、何だか気持ちも清々しく、「今年はこんなことを頑張るぞ！」とかいろいろ考えたくなりますよね。

ちょうどそんなタイミングで的川先生のお話を聞くことができたことで、受講された先生方も、それぞれに「教師としての一年の計」や「新たな決意」を立てるいい機会になったのかもしれない。

どうやらの川先生が火をつけたのは、子どもの心、だけではなかったようです。

心に赤々と火のついた先生方が、今年も子どもたちのために大活躍してくれますように。私たちも、一人でも多くの先生方と手を携え、支援していこうと思っています。

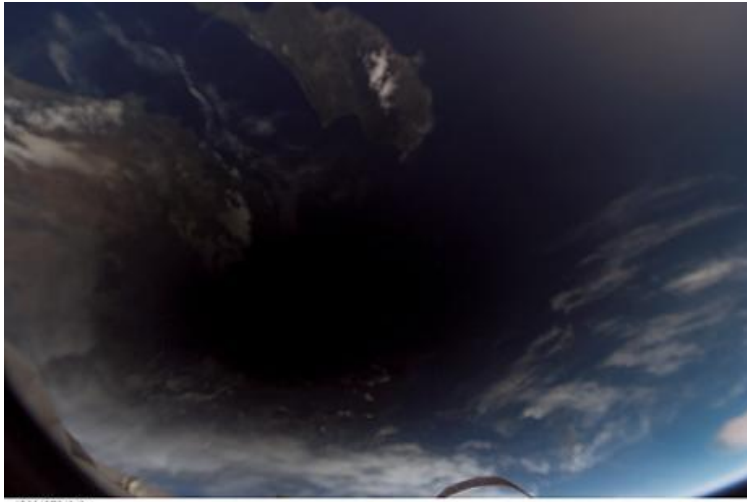


的川先生って福々しいお顔をしてるなあって、思いませんか？
新年早々なんだか福の神に会えたようです（^^）

※1 <コズミックカレンダーとは・・・>

137億年前の宇宙の始まり（ビッグバン）から現在まで、その壮大な宇宙の歴史を1年（365日）の枠に換算してカレンダーに当てはめてみたもの。

地球の誕生、生命の誕生、人類の登場など、主要な項目の時期は1年の暦の中では果たして何月何日何時何分（何秒！？）の出来事になるでしょうか。学校で、ご家庭で、チャレンジしてみてください。



(写真提供：NASA)

これは、的川先生が講演の中で紹介した写真のひとつ。
2006年3月、軌道上の国際宇宙ステーションに滞在中の宇宙飛行士が
皆既日食中に撮影した地球に映る月の影です。

このような写真が撮れたのは、それぞれの位置関係が
「地球～宇宙ステーション～月～太陽」の順に並んでいたからこそ。
今は、「宇宙から地球を見る」時代なんですね。

<関連リンク>

- ★宇宙教育にかける思い、それは宇宙教育センター設立の時から
今に至るまで変わらぬ強い決意です。
- ★的川先生は、ユーラシア大陸最西端の地「ロカ岬」で一体何を思ったのか---
続きはYMコラム2006年10月13日号をご覧ください。
- ★「地球に映る月の影」大きな画像をご希望の方はNASAのサイトからどうぞ
(※ご利用の際は、NASAの写真使用ガイドラインに従ってください)